

2025年11月26日

第26期（令和7年度）第8回理事会式次第

- 1.日時： 2025年11月26日（水） 16:00～17:00
- 2.場所： 千代田区神田神保町1－2－5 和栗ハトヤビル6階
NPO法人SOS総合相談グループ内 会議室
- 3.出席者（敬称略）：
理事：本郷亮、石田泉、角田榮二、宮田浄子、大和陽一郎、川崎達也、勝田基、
大澤雅勝、小林慶子、本山恭子、中村哲志、栗原哲哉
（わらい）齋藤眞弓、谷治博史、吉川知宏、田中周子、鈴木亨、川邊憲一、松木将企
監事：松下明夫、津吹一晴
【出席者数】理事19名（内オンライン7名）、監事2名（内オンライン0名）
＜欠席者＞ 蓮井俊治
【欠席者数】理事1名、監事0名
- 4.議事：
 - （1）理事長挨拶
 - （2）議事録署名人指名
 - （3）審議事項
なし
 - （4）討議事項
 - ①創立25周年記念イベント総括
 - （5）報告事項
 - ①第26期中間監査実施報告
 - ②相談業務委員会
 - ・相談実績
 - ・部会報告（社会保険・労務、暮らし）
 - ③事業推進委員会
 - ④研究・研修委員会
 - ⑤情報管理委員会
 - ⑥総務・財務委員会
 - （6）事務局報告等その他

次回理事会： 2025年12月17日（水） 16:00 ～

★開催日注意ください

第 26 期（令和 7 年度）第 7 回理事会議事録

1. 日時：2025 年 10 月 22 日（水）16:00～17:00
2. 場所：千代田区神田神保町 1－2－5 和栗ハトヤビル 6 階
NPO 法人 SOS 総合相談グループ内会議室

<出席者>

（理事）

本郷 亮、石田 泉、角田 榮二、宮田 浄子、齋藤 眞弓、谷治 博史、大和 陽一郎、
吉川 知宏、川崎 達也、田中 周子、勝田 基、大澤 雅勝、鈴木 亨、川邊 憲一、
小林 慶子、松木 将企、本山 恭子、中村 哲志、蓮井 俊治、栗原 哲哉

（監事）

松下 明夫、津吹 一晴

（敬称略）

- ・出席者：理事 18 名、監事 2 名（内オンライン出席：理事 5 名、監事 0 名）
- ・欠席者：理事 2 名、監事 0 名 （下線欠席）

3. 理事長挨拶

創立 25 周年記念感謝会への協力ありがとうございました。特に懇親会で司会を務めた勝田理事、津吹監事は大変だったと思うがおかげさまで盛会に終わった。
感謝会が終わり NEXT25 年のスタートになるので引き続き協力をお願いしたい。

4. 議事録署名人の指名

議事録署名人として、川崎達也、川邊憲一の両氏が指名され両氏とも承諾した。

5. 審議事項

①新規入会者の件

（島田 直人氏：税務・金融部会）

- ・島田 直人 氏について紹介者の石井祐司に代わり栗原事務局長から紹介があり、異議なく承認された。本人は本日都合により来れないので次回理事会で紹介することとした。

6. 討議事項

①創立 25 周年記念感謝会実施報告

栗原事務局長から資料に基づき説明があった。

- ・当日の出席者はお客様 48 名、会員 66 名、計 114 名であった。
- ・スケジュールは予定通り進行し盛会に終わった。関係者のご協力に感謝申し上げる。

②「NEXT25 タスクフォース」報告

松木理事から資料に基づき説明があった。

- ・お客様、SOS 会員、未来予測の 3 点から検討を行い、次の 25 年に向かって SOS が進む方向について提言をまとめた。
- ・特に AI の進化を前提に SOS の強みを発揮するための施策の検討、相談者の満足度を可視化し契約顧客の信頼度向上と新規顧客開拓の推進、会員が基本理念「奉仕・啓発・愉快」を実感できるようなイベント等の企画が必要である。

7. 報告事項

（1）相談業務委員会

①9 月度相談実績

石田委員長から資料に基づき下記の説明があった。

- ・9月度相談実績は単月 280 件、+40 件/前年、累計 1,447 件、+67 件/前年となり、過去最多となった。中でも法務の伸びが高い。

②相談業務委員会（相談事例集）

栗原事務局長から資料に基づき説明があった。

- ・9/24 に相談事例集の最後の確認を行い、印刷に回すこととした。
- ・お客様、会員への配布用の他、新規顧客向け等で計 900 部を作成、感謝会で配布した。
- ・必要であれば追加配布が可能であるので申し出て欲しい。

（2）事業推進委員会

角田委員長から10/8開催の同委員会について資料に基づき説明があった。

- ・今回は25周年記念イベントの対応方法について確認を行った。

（3）研究・研修委員会

宮田委員長から 10/15 開催の同委員会について資料に基づき説明があった。

- ・25 周年記念イベントの対応方法について確認を行った。
- ・9/26 に第 2 回研修会の開催通知を発信。
- ・研修忘年会は SOS 事務所を会場として 12/12 に開催。
絵地図師・散歩屋 高橋美江氏に講師を依頼し快諾を得た。
松下監事から高橋氏についての紹介があった。

（4）情報管理委員会

なし

（5）総務・財務委員会

栗原事務局長から資料に基づき説明があった。

- ・25 周年感謝会費用を 10 月見込みに計上、概ね 150 万円程度
- ・お客様向けセミナーが好調で収益を押し上げている。

8. 事務局報告、その他

栗原委員長から今後の予定について資料に基づき説明があった。

その後、25 周年感謝会でのスライドショーを視聴した。

次回開催予定：11 月 26 日（水）16:00～

以上

2025 年 11 月 6 日

議 長 本郷 亮

議事録署名人 川崎 達也

議事録署名人 川邊 寛一

(理事会資料)

2025.11.26

創立 25 周年記念感謝会実行委員長

宮田浄子

事務局長 栗原哲哉

創立 25 周年記念イベント

活動報告 (総括)

I. 活動計画 (2025/2/26 理事会)

1. イベント構成

① 25 周年記念セミナー & 懇親会

- ・お客様向け「感謝会」と会員向け「記念イベント」を同時開催
- ・実施時期：2025 年 10 月中旬→2025 年 10 月 17 日 (金)
- ・場所：神保町近辺→出版クラブホール 3 階、4 階
- ・内容：
 - 第 1 部：記念セミナー
 - ・司会：柳亭左龍師匠、理事長挨拶、SOS25 年の歩み (紙芝居) 他
 - ・記念セミナー
 - 第 2 部：懇親会
 - ・お客様 (4 階)、SOS 会員 (3 階)

・参加者目標

契約先+招待顧客：50 名、SOS 会員：60 名

② 25 周年記念品

- ・お客様用：150、会員用：130 (会員+取引先)

③ SOS 会報 25 周年版

- ・SOS25 年の歩み、相談事例、相談委員紹介、座談会、お客様紹介 他

④ 相談事例集 & 動画集

- ・位置づけ：相談事例集 Vol.2、相談事例：5 件/部会×7 部会=35 件

⑤ 「SOS NEXT25」タスクフォース

- ・「次の 25 年に向かい SOS の進む方向について」の検討
- ・会員、お客様アンケート、検討会

2. 予算措置

総額 1,500,000 円を 2025 年度予算に計上

内訳 (概算)

| | |
|---------------|-----------------|
| ・記念セミナー会場費 | ： 810 千円 (懇親会込) |
| ・講師謝礼、懇親会イベント | ： 500 千円 |
| ・記念品 | ： 420 千円 |
| ・会報 | ： 30 千円 (印刷代) |
| ・相談事例 | ： 100 千円 (印刷代) |
| ・他雑費 | ： 100 千円 (会議費用) |
| 小計 | ： 1,960 千円 |
| ・効率化 1 | ： ▲250 千円 |
| ・効率化 2 | ： ▲210 千円 |
| 計 | ： 1,500 千円 |

Ⅱ.活動実績

1. 25 周年記念セミナー & 懇親会

(1) 主な開催準備

①役員、事業推進委員によるお客様個別訪問（事業推進委員会）

- ・招待状作成：事務局による内製
 - ・訪問お客様数：31/56（55%）、訪問人回：50（人数×回数）
 - ・非訪問お客様への招待状郵送：25
- 詳細＜別紙：事業推進委員会資料＞

②セミナー準備

- ・山田順子氏へのセミナー打診：左龍師匠
- ・同氏への依頼、打ち合わせ：本郷理事長、宮田委員長、左龍師匠、事務局長
- ・同氏サイン入り「吉原噺」購入：30 冊

③「日本酒って素敵？！」

- ・企画、準備検討：細川氏、勝田氏、津吹氏、事務局 計6回
- ・乾杯酒、テイスティング酒手配：雫 24 本、日本酒 24 本他（細川氏・宝酒造）
- ・説明資料作成、左龍師匠（当日代役）への説明、当日準備、ビデオレター録画等

④SOS 会員への開催案内

- ・招待状郵送（7/末）

(2) 当日概要

- ・日時：2025 年 10 月 17 日（金）16:00～19:30
- ・場所：出版クラブホール
- ・スケジュール
 - ＜第 1 部＞
 - ・SOS25 年の歩み（スライドショー）、理事長挨拶
 - ・セミナー：「吉原噺～江戸文化と吉原」（講師 山田順子氏）
 - ・特別対談：山田順子氏 vs 柳亭左龍師匠
 - ＜第 2 部：懇親会＞
 - ・お客様懇親会 17:25～19:00
 - ・SOS 会員 17:45～19:30
- ・運営協力
 - ・お客様、会員送迎：役員、特別顧問、弁法代表
 - ・司会、日本酒テイスティング：柳亭左龍師匠
 - ・お客様対応、テイスティング準備、懇親会司会：事業推進委員会
 - ・会員対応、テイスティング準備、懇親会司会：研究・研修委員会
- ・参加者数
 - ・お客様： 48 名（当日欠席 3 名）
 - ・SOS 会員：66 名（当日欠席 3 名）
 - 計： 114 名

(3) 投入（協力人員・費用）実績

| | 「延べ」内容 | 人 | | 千円・税抜 | | 計 |
|----------|--------|--------------|-----------|-------|------|-------|
| | | 協力人員 延べ人数 | 費用 実人数 | 外部支払 | SOS内 | |
| お客様訪問・招待 | 訪問/人 | 50 | 14 | 0 | 156 | 156 |
| セミナー関連 | 打合せ/人 | 6 | 4 | 262 | 5 | 267 |
| 日本酒関連 | 打合せ/人 | 30 | 5 | 0 | 25 | 25 |
| 当日会場・懇親会 | 役割/人 | 33 | 22 | 972 | 27 | 999 |
| 計 | | 119 | 22 | 1,234 | 213 | 1,447 |

(4) 主な成果

- ・「創立 25 周年記念感謝会」を盛況に開催
- ・個別訪問、当日懇親会等を通しお客様との関係性が強化
- ・新規顧客紹介は 1 件に留まるも契約濃厚
- ・全会員の半数以上の会員の参加
- ・セミナー、日本酒テイスティングは概ね好評

2. 創立 25 周年記念品

- ・購入品：研究・研修委員会で検討
→関孫六ツメキリ type102
- ・購入数
会員 用：130（1 ケ/人）含む取引先用
お客様用：120（感謝会参加者 1 ケ/人、他 2 ケ/お客様）
計：250
- ・購入費用：354 千円（税抜）
- ・購入先：amazon

3. SOS 会報 25 周年版

- ・「SOS25 年の歩み」（3 分 20 秒）
作成方法：過去の資料、写真、NEXT25 検討結果等を元に事務局が内製にて作成
ツール：パワーポイントスライドショーを使用
費用：なし
→感謝会冒頭で投影
→各契約先の専用ポータルに登録
→新規顧客開拓のツールとしても活用
- ・「会報」
事務局工数逼迫により作成を断念、方針変更
→会員向け情報共有強化（ポータルサイト見直し）とあわせ検討
- ・主な成果
・SOS の歩み、今後の決意を映像によりわかりやすくコンパクトに PR

4. 相談事例集 & 動画集

・作成経過

- ・4/16 第1回相談業務委員会
 - ・7件/部会
 - ・作成要領、候補事例を説明
 - ・各部会長に執筆、取りまとめ依頼・・・締切6/末
 →事例執筆開始
- ・6/25 第2回相談業務委員会
 - ・49件の作成(中)確認
 - ・内容の確認(個人情報、非弁等)のチェック依頼
- ・7/7 法務部会に全事例の査閲依頼～締切8/4
- ・8/4～印刷用編集作業(事務局)
- ・9/24 第3回相談業務委員会
 - ・相談事例集第2版(全49件の事例)作成完了確認
 - ・会員用、お客様用、販促用等 計900部印刷承認
- ・10/17 感謝会でお客様、会員に配布
- ・～10/末 全会員、お客様へ配布完了
- ・11/5 相談事例集：電子BOOK版作成
 - ～11/末 ホームページで公開(準備中)
- ・9/19～専用ポータルサイト用相談動画制作開始
 - ・事例集から15事例をピックアップし個別に製作依頼
 - ・撮影完了3件(11/19現在)
 →順次ポータルサイトに登録

・投入(協力人員・費用)実績

| | 「延べ」内容 | 人 | | 千円・税抜 | | 計 |
|---------|--------|------|-----|-------|------|-----|
| | | 延べ人数 | 実人数 | 外部支払 | SOS内 | |
| 相談業務委員会 | 出席/人 | 30 | 10 | 0 | 0 | 0 |
| 事例執筆 | 事例数 | 37 | 35 | 0 | 0 | 0 |
| 法務部会査閲 | | 4 | 4 | 0 | 0 | 0 |
| 冊子作成 | 編集 | 3 | 3 | 163 | 0 | 163 |
| 計 | | 74 | 47 | 163 | 0 | 163 |

・主な成果

- ・相談事例集第2版を発行
- ・前回経験を活かし効率的に作成
- ・新規顧客開拓のツールとしても活用

5. 「SOS NEXT25」タスクフォース

・活動経過

- ・7/4 タスクフォース参加依頼：15名（除く：リーダー、サブリーダー、事務局長）
→全員参加（計18名）
- ・7/7～7/22 SOS 会員アンケート実施
→回答者：74/118 63%
- ・7/30 第1回検討会
テーマ：SOS 会員アンケート分析
- ・7/28～8/8 お客様満足度アンケート
→回答者：42/56 76%
- ・8/28 第2回検討会
テーマ：お客様満足度アンケート分析
- ・9/24 第3回検討会
テーマ：社会・お客様の变化（未来予測）
- ・10/10 第4回検討会
テーマ：「次の25年に向かい SOS の進む方向について」（提言）
- ・10/22 10 月度理事会で報告

・投入（協力人員・費用）実績

| | | 人 | | 千円・税抜 | | |
|------------|--------|------|-----|-------|------|-----|
| | | 協力人員 | | 費用 | | 計 |
| | 「延べ」内容 | 延べ人数 | 実人数 | 外部支払 | SOS内 | |
| タスクフォース検討 | 検討会数 | 72 | 18 | 29 | 102 | 131 |
| 会員アンケート対応 | 作成・依頼・ | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| お客様アンケート対応 | 集計 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 未来予測対応 | | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | | 79 | 18 | 29 | 102 | 131 |

・主な成果

- ・会員アンケート、お客様満足度調査を通し SOS の強み、期待をデータで把握
- ・今後の経営・事業運営方針の基礎となるテーマ、課題の明確化
- ・メンバー相互の懇親、SOS への理解の促進

Ⅲ.総投入実績、予算対比

(1) 総投入実績

| | 人 | | 千円・税抜 | |
|-------------------|------|-----|-------|------|
| | 協力人員 | | 費用 | |
| | 延べ人数 | 実人数 | 外部支払 | SOS内 |
| ①25周年記念セミナー & 懇親会 | 119 | 22 | 1,234 | 213 |
| ②記念品 | 2 | 1 | 354 | 0 |
| ③SOS会報25周年版 | 2 | 2 | 0 | 0 |
| ④相談事例集 | 74 | 47 | 163 | 0 |
| ⑤NEXT25タスクフォース | 79 | 18 | 29 | 102 |
| (重複) | | -42 | | |
| 計 | 276 | 48 | 1,780 | 315 |

<協力人員>

・延べ：276 人、実人数：48 名 = 40%/会員

<費用>

・外部支払：178 万円、SOS 内：32 万円（打合せ、交通費等）、計 210 万円

(2) 予算対比

| 千円・税抜 | | | |
|------------|-------|-------|------|
| <総予算> | 予算 | 実績 | 差異 |
| 会場・懇親会 | 810 | 999 | 189 |
| セミナー・イベント | 500 | 267 | -233 |
| 記念品 | 420 | 354 | -66 |
| SOS会報 | 30 | 0 | -30 |
| 相談事例 | 100 | 164 | 64 |
| 会議費用（活動費） | 100 | 312 | 212 |
| 計 | 1,960 | 2,095 | 135 |
| <2025年度予算> | | | |
| 効率化1 | -250 | -169 | 81 |
| 効率化2 | -210 | 0 | 210 |
| 計 | 1,500 | 1,926 | 426 |

参加者増、機材等追加

懇親会でのイベント内製

| | |
|--------|-------|
| お客様訪問 | 155.8 |
| 日本酒打合せ | 25.5 |
| NEXT25 | 130.8 |

←

爪切り

懇親会、セミナーで捻出予定

・総予算

会議費用（活動費）以外はほぼ予算通り（△77 千円/予算）

お客様訪問、NEXT25（←予算外）により会議費用（活動費）予算超過

→予算オーバー135 千円

・2025 年度予算

年度予算編時に実行時効率化を 460 千円織り込む

効率化 1：爪切り購入しきれず

効率化 2：懇親会イベントの内製化（日本酒テイスティング）で削減できたものの、参加者増、プロジェクター等追加、活動費用の増加により打消
→予算オーバー426 千円

IV.事務局長所感

- ・ 9 か月間にわたる会員各位の協力と 200 万円の費用を投入し、大きな混乱もなく感謝会開催、相談事例集の発行等、ほぼ当初の計画通り遂行できた。
- ・ お客様関連では役員、事業推進委員の個別訪問の効果が非常に高く、51 名（当日欠席 3 名含む）の参加に結びついただけでなく、FACE to FACE のコミュニケーションによる信頼関係の醸成がはかられたことは大きな成果である。
一方で訪問しなかったお客様からの出席が極端に少なかったこと、新規顧客の紹介が 1 社にとどまったことの分析を進め、今後の施策の検討を進める必要がある。
- ・ 研究・研修、事業推進委員会メンバーの強力な支援、相談事例集の執筆、取りまとめ、内容確認、NEXT25 活動等、全会員の 40%に相当するメンバーが前向きに企画、準備、運営に関わってくれたことも大きな成果の 1 つであり、S O S の組織的対応力、個々のポテンシャルの高さを感じる。
また、会員アンケート結果等から S O S に対する会員間の温度差にばらつきがあるとの見方があるものの、感謝会参加者が会員の半数を超えたことは S O S へのコミット、期待の高さの現れであると思われる。
- ・ NEXT25 にはベテラン～若手が参加し、世代を超えて S O S の現状、今後について正面から向き合い、短期間で貴重な提言をまとめることが出来た。
これらは今後の S O S の経営、事業運営のベースになるものであるので来年度の運営方針に取り入れるとともに、今後も形を変えながらこのような活動を展開して行く必要があると思われる。

以上

<別紙>

2025.11.2 事業推進委員会資料（抜粋）

3.成果と課題

①お客様訪問、出席状況

| 【分類別】 | | | | | | | | | | | | | |
|-------|--------------|----|-----|------|-------|------|---------|-----------|-------|-----------|------|-------|-------|
| 分類 | 説明 | 対応 | 顧客数 | 訪問実績 | 訪問達成率 | 訪問人回 | Bレベル面談数 | 面談率(B/訪問) | 出席顧客数 | 出席率(/顧客数) | 出席者数 | 出席者比率 | 招待顧客数 |
| A | 新規顧客紹介依頼 | 訪問 | 12 | 12 | 100% | 24 | 10 | 83% | 10 | 83% | 26 | 54% | 1 |
| B | 関係性強化 | 訪問 | 3 | 2 | 67% | 3 | 2 | 100% | 3 | 100% | 7 | 15% | 0 |
| C | 解約リスク対策 | 訪問 | 5 | 3 | 60% | 7 | 2 | 67% | 2 | 40% | 3 | 6% | 0 |
| E | 特定顧客（新規、戦略等） | 訪問 | 15 | 14 | 93% | 16 | 12 | 86% | 5 | 33% | 8 | 17% | 0 |
| | 訪問計 | | 35 | 31 | 89% | 50 | 26 | 84% | 20 | 57% | 44 | 92% | 1 |
| D | 通常顧客 | 郵送 | 21 | 0 | — | 0 | 0 | — | 2 | 10% | 4 | 8% | 0 |
| | 合計 | | 56 | 31 | 55% | 50 | 26 | 84% | 22 | 39% | 48 | 100% | 1 |

※分類は当初計画（途中見直し）

- ・ 訪問計画についてはほぼ達成、「A」は 100%
- ・ 訪問顧客のうち「B（部長レベル）以上」との面談率は 84%で高い水準
- ・ 出席顧客数は「A」、「B」は高い確度で出席、「C 解約リスク」2/5 にとどまる
「E 特定」は 5/15 で低調：労働組合の共通イベント、遠方、当日欠席（2 社）の影響
- ・ 「D 通常」は極めて低調（2/21）：招待状郵送だけ×、訪問効果◎
一方で事業推進委員での訪問は今回が限界か
また今回のセミナーテーマは仕事に関係なかったものだったことも影響してるか
- ・ 新規顧客紹介は 1 件のみ・要対策検討

<参考>

| 【顧客タイプ別】 | | | | | | | | | | | |
|----------|-----|-------|-----|------|---------|-----------|-------|-----------|------|-------|-------|
| 分類 | 顧客数 | 訪問顧客数 | 訪問率 | 訪問人回 | Bレベル面談数 | 面談率(B/訪問) | 出席顧客数 | 出席率(/顧客数) | 出席者数 | 出席者比率 | 招待顧客数 |
| 共済会 | 11 | 10 | 91% | 18 | 10 | 100% | 8 | 73% | 19 | 40% | 1 |
| 企業 | 31 | 13 | 42% | 22 | 9 | 69% | 10 | 32% | 22 | 46% | 0 |
| 組合 | 8 | 5 | 63% | 5 | 4 | 80% | 1 | 13% | 1 | 2% | 0 |
| その他 | 6 | 3 | 50% | 5 | 3 | 100% | 3 | 50% | 6 | 13% | 0 |
| 合計 | 56 | 31 | 55% | 50 | 26 | 84% | 22 | 39% | 48 | 100% | 1 |

②当日運営

- ・受付、案内
 - ・エスカレータ前でのアテンド時にお客様の名前を聴いているが、それが受付に伝わらなかったため2度聴くことになり、失礼なこととなった。要改善。
 - ・丸山氏が来場した会員を会員受付に行くよう促してくれたのは助かった。
- ・日本酒対応
 - ・細川氏が手配、当日の段取り含め準備をしてくれたため、当初の想定以上工数がかかったが概ね予定通りに対応できた。
- ・その他全般
 - ・会員懇親会は準備が整ったものの開始に手間取り待ち時間が発生したのは問題

4.目標達成度

- ・集客：△
 - 訪問による集客は◎
 - 招待状のみは×
 - 来てもらうためには訪問が必要か
- ・新規顧客紹介：×
- 1社のみで課題大
- 別のアプローチも検討
- ・既存顧客との関係性強化：◎
 - 訪問、感謝会当日を通し、SOSへのロイヤリティは高まったと評価
- ・解約リスク顧客信頼関係の醸成：△
 - 大きく改善した顧客がある一方、訪問自体を拒否された顧客もあった
 - 継続したフォローが必要

以上

中間監査報告書

特定非営利活動法人 SOS 総合相談グループ

理事長 本郷 亮 様

私たちは、特定非営利活動法人 SOS 総合相談グループの第 26 期における 2025 年 4 月 1 日から同年 9 月 30 日までの期間の業務及び財産の状況等について、特定非営利活動促進法第 18 条及び特定非営利活動法人 SOS 総合相談グループ定款第 17 条 5 項の規定に基づき、監査を行いました。その結果につき以下の通り報告致します。

監査の方法

理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、理事会並びに各委員会の決裁書類・議事録等を閲覧し、事業報告を求めました。また、2025 年 5 月 16 日に開催された第 26 期通常総会において承認された前期の事業報告及び決算報告の都庁への提出状況について調査を行った上、会計関係帳簿・書類並びに従業員の雇用に関する諸届出、諸記録の調査を行いました。

記

監査結果

- (1) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (2) 理事会並びに各委員会の打合せ内容及び決議事項は適正に各議事録に反映されているものと認めます。
- (3) 前期の事業報告及び決算報告は定められた期間内に正しく都庁に提出されていることを認めます。
- (4) 会計帳簿は、記帳すべき事項を正しく記載しているものと認めます。
- (5) 計算書類は法令及び定款に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (6) 内部統制システムに関連する諸規程、就業規則は適宜改正がなされ、適切に作成・保存・運用されているものと認めます。

2025 年（令和 7 年）10 月 22 日

特定非営利活動法人 SOS 総合相談グループ

監事

松下 明夫



監事

津吹 一晴



第26期（2025年度）10月度分野別相談件数実績

| 大分類 | 前期同月累計 | | 今期 | | | | 内 一般相談 | | |
|-----------|--------|------|-----|-------|------|----------|--------|----|-----|
| | | | 当月 | 累計 | | 前期 差異 | 前期 | 今期 | 差異 |
| 法律 | 663 | 41% | 122 | 793 | 47% | 130 | 4 | 6 | 2 |
| 税務・金融（注1） | 207 | 13% | 47 | 268 | 16% | 61 | 5 | 4 | ▲ 1 |
| 不動産 | 164 | 10% | 14 | 112 | 7% | ▲ 52 | 7 | 3 | ▲ 4 |
| 心理 | 77 | 5% | 11 | 82 | 5% | 5 | 1 | 1 | 0 |
| 家庭・教育 | 88 | 5% | 10 | 71 | 4% | ▲ 17 | 3 | 2 | ▲ 1 |
| 暮らし | 66 | 4% | 3 | 47 | 3% | ▲ 19 | 3 | 1 | ▲ 2 |
| 社保・労務 | 127 | 8% | 10 | 94 | 6% | ▲ 33 | 0 | 2 | 2 |
| 相続・遺言 | 239 | 15% | 31 | 228 | 13% | ▲ 11 | 1 | 0 | ▲ 1 |
| 計 | 1,631 | 100% | 248 | 1,695 | 100% | 64 | 24 | 19 | ▲ 5 |

（注1）経営は税務・金融に含む

| 同月比較 | 前期同月 | 当期同月 | 同月差異 | 備考 |
|------|---|------|------|--------|
| | 251 | 248 | ▲ 3 | ほぼ前年並み |
| 差異説明 | （増要因）イオン+9、富士フイルム共済会+6、オリンパス労組+4、電通+4 （減要因）村上開明堂-2、東京地下鉄-2、日本野鳥の会-2、キヤノングループ労組-2 （増減内訳）増加：24団体/54件・減少：16団体/-65件・新規：8件・解約：0件 | | | |

| 累計比較 | 前期累計 | 当期累計 | 累計差異 | 備考 |
|------|--|-------|------|---------|
| | 1,631 | 1,695 | 64 | 過去最多キープ |
| 差異説明 | （増要因）イオン+39、テルモ+34、電通+26、小糸製作所協力会+19 （減要因）農中旧友会-14、東日本OB会-14、リコーグループ-13、村上開明堂-6 （増減内訳）増加：26団体/233件・減少：22団体/-213件・新規：49件・解約：-5件 | | | |

| （参考） | 当月実績件数 | 当期累計件数 | 前期累計件数 | 差異 |
|-----------|--------|--------|--------|------|
| 土曜日相談 | 17 | 121 | 133 | ▲ 12 |
| クイックレスポンス | 2 | 16 | 41 | ▲ 25 |
| 面談による相談 | 51 | 369 | 322 | 47 |
| 内ZOOM相談 | 29 | 191 | 145 | 46 |

2025年10月度 顧客別相談実績件数

| | 顧客 コード | 顧客名 | 契約 | | | 第25期 | | 第26期 | | 前期比較 |
|-----|-----------|---------------------|---------|----|----|-------|-------|------|-------|------|
| | | | 開始 | 終了 | 区分 | 同月累計 | 年間値 | 当月 | 累計 | 差異 |
| 1 | 129 | イオングッドライフクラブ | 2001/2 | | | 436 | 729 | 67 | 475 | 39 |
| 2 | 135 | 東京ガス株式会社 | 2010/4 | | | 84 | 140 | 8 | 89 | 5 |
| 3 | 153 | 株式会社電通 | 2013/4 | | | 63 | 101 | 17 | 89 | 26 |
| 4 | 101 | TOPPANグループ福祉会 | 1999/4 | | | 113 | 195 | 9 | 84 | △ 29 |
| 5 | 140 | サントリーホールディングス株式会社 | 2010/10 | | | 65 | 136 | 8 | 76 | 11 |
| 6 | 175 | 読売グループ共済会 | 2021/4 | | | 55 | 94 | 7 | 73 | 18 |
| 7 | 103 | 東京電力ホールディングス株式会社 | 2001/10 | | | 60 | 100 | 7 | 71 | 11 |
| 8 | 169 | テルモ株式会社 | 2019/9 | | | 30 | 62 | 11 | 64 | 34 |
| 9 | 122 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 | 2000/6 | | | 44 | 89 | 11 | 49 | 5 |
| 10 | 170 | 富士フイルム共済会 | 2019/9 | | | 73 | 96 | 11 | 46 | △ 27 |
| 11 | 114 | アサヒグループ共済会ニコット | 2005/6 | | | 58 | 100 | 1 | 41 | △ 17 |
| 12 | 105 | オムロン株式会社 | 2002/8 | | | 39 | 76 | 4 | 41 | 2 |
| 13 | 104 | 物産会 | 2002/2 | | | 33 | 56 | 4 | 37 | 4 |
| 14 | 137 | 味の素グループ共済会 | 2010/6 | | | 31 | 47 | 4 | 34 | 3 |
| 15 | 165 | 公益財団法人日本野鳥の会 | 2018/7 | | | 52 | 76 | 6 | 29 | △ 23 |
| 16 | 124 | オリンパス労働組合 | 2007/8 | | | 21 | 35 | 7 | 27 | 6 |
| 17 | 102 | リコーグループ福祉会 | 2000/8 | | | 38 | 66 | 5 | 25 | △ 13 |
| 18 | 119 | メディパルグループ共済会 | 2006/9 | | | 40 | 55 | 4 | 23 | △ 17 |
| 19 | 174 | 農林中央金庫旧友会 | 2020/5 | | | 37 | 65 | 7 | 23 | △ 14 |
| 20 | 144 | 王子マネジメントオフィス株式会社 | 2011/4 | | | 17 | 27 | 5 | 20 | 3 |
| 21 | 186 | 協同組合小糸製作所協力会 | 2025/4 | | 新規 | — | — | 2 | 19 | — |
| 22 | 106 | キヤノン労働組合 | 2002/9 | | | 20 | 30 | 2 | 17 | △ 3 |
| 23 | 154 | 東日本鉄道OB会 | 2013/4 | | | 31 | 46 | 4 | 17 | △ 14 |
| 24 | 166 | 松竹株式会社 | 2018/8 | | | 5 | 18 | 1 | 16 | 11 |
| 25 | 163 | 京浜急行電鉄株式会社 | 2018/4 | | | 3 | 7 | 2 | 16 | 13 |
| 26 | 117 | 富士フイルムビジネスイノベーション | 2005/7 | | | 14 | 32 | 4 | 16 | 2 |
| 27 | 184 | BIPROGY福祉会 | 2025/4 | | 新規 | — | — | 4 | 15 | — |
| 28 | 156 | ヤマザキ製パン従業員組合 | 2013/6 | | | 18 | 26 | 0 | 13 | △ 5 |
| 29 | 131 | 理研ビタミン株式会社 | 2009/5 | | | 1 | 4 | 3 | 13 | 12 |
| 30 | 164 | 株式会社小糸製作所 | 2018/6 | | | 15 | 40 | 4 | 11 | △ 4 |
| 31 | 183 | 一般社団法人サトーグループ共済会 | 2024/8 | | | 11 | 18 | 1 | 10 | △ 1 |
| 32 | 133 | 長瀬産業株式会社 | 2009/11 | | | 1 | 7 | 1 | 9 | 8 |
| 33 | 110 | キヤノングループ労働組合協議会 | 2004/9 | | | 12 | 16 | 2 | 9 | △ 3 |
| 34 | 160 | エースコック株式会社 | 2017/11 | | | 4 | 13 | 0 | 8 | 4 |
| 35 | 168 | 株式会社トーキン | 2018/8 | | | 3 | 13 | 1 | 8 | 5 |
| 36 | 188 | コイト電工株式会社 | 2025/4 | | 新規 | | | 2 | 8 | — |
| 37 | 187 | 小糸九州株式会社 | 2025/4 | | 新規 | — | — | 0 | 7 | — |
| 38 | 177 | 東京地下鉄株式会社 | 2022/6 | | | 24 | 35 | 1 | 7 | △ 17 |
| 39 | 107 | 全オカムラ労働組合連合会 | 2002/10 | | | 11 | 20 | 2 | 6 | △ 5 |
| 40 | 176 | 鈴与シンワート株式会社 | 2021/4 | | | 5 | 5 | 0 | 5 | 0 |
| 41 | 158 | ドコモ同友会 | 2014/12 | | | 8 | 12 | 2 | 5 | △ 3 |
| 42 | 162 | 株式会社J-BISメンテナンス | 2018/4 | | | 1 | 2 | 1 | 4 | 3 |
| 43 | 180 | 長野県信用組合 | 2024/4 | | | 3 | 5 | 0 | 3 | 0 |
| 44 | 179 | 全内田洋行労働組合 | 2023/9 | | | 0 | 5 | 0 | 3 | 3 |
| 45 | 178 | 株式会社村上開明堂 | 2022/6 | | | 9 | 11 | 0 | 3 | △ 6 |
| 46 | 182 | 株式会社東京金融取引所 | 2024/4 | | | 5 | 8 | 0 | 3 | △ 2 |
| 47 | 126 | 株式会社電通プロモーションプラス | 2008/8 | | | 2 | 3 | 2 | 3 | 1 |
| 48 | 108 | 株式会社ダイショー | 2002/10 | | | 0 | 1 | 0 | 2 | 2 |
| 49 | 181 | エビデント労働組合 | 2024/3 | | | 6 | 9 | 1 | 2 | △ 4 |
| 50 | 127 | 東京書籍株式会社 | 2008/12 | | | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 51 | 139 | 株式会社コスモテック | 2010/8 | | | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 |
| 52 | 185 | Space Direction株式会社 | 2025/4 | | 新規 | — | — | 0 | 0 | — |
| 53 | 121 | コスモ・バイオ株式会社 | 2007/6 | | | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 54 | 173 | 株式会社ENEOS NUC | 2020/6 | | | 1 | 2 | 0 | 0 | △ 1 |
| 55 | 155 | 株式会社ネクセライズ | 2013/5 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 56 | 189 | 北海道イシダ株式会社 | 2025/7 | | 新規 | | | 0 | 0 | 0 |
| 57 | 900 | 一般 | | | | 24 | 40 | 3 | 19 | △ 5 |
| 58 | 999 | 調整（※前期契約解約分） | | | | 5 | 5 | 0 | 0 | △ 5 |
| 合 計 | | | | | | 1,631 | 2,781 | 248 | 1,695 | 64 |

令和7年 第 1回 社会保険・労務部会 議事録

| 日 時 | 令和7年 10月 27日 月曜日 16:00～17:00 |
|--|---|
| 場 所 | SOS 総合労働相談グループ 会議室 |
| 出席者 | 笠原健治、宮田浄子、竹下克司、田邊布由、松木将企（副部会長）、泉谷四郎、本山恭子（部会長） オブザーバー：本郷理事長 |
| 議 題 | |
| <p>会の前に 25周年記念のために作成された映像視聴</p> <p>(1)自己紹介</p> <p>(2)相談に当たり困っていること等何でも意見交換</p> <p>(3)努力義務化される治療と仕事の両立支援について</p> <p>(4)懇親会</p> | |
| 討 議 事 項 | |
| <p>(1) 自己紹介 泉谷先生が入会され、初顔合わせとなったため全員がそれぞれ自己紹介 入会のきっかけやこれまでのキャリア、社労士業務等について自由に紹介</p> <p>(2) 相談に当たり困っていることなど何でも意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談者は自ら色々調べたりして相談に臨んでいるようで、特に問題になることは少ない ・ただし、ハラスメント事案についてはハラスメントだと言ってほしくて相談をしてきている人が多いが、判断できるものでもないため返事には注意をすること。 ・社会保険労務部会の相談件数が昨年比で3割程度落ちている理由について検討。扶養の範囲の働き方等昨年は動きがあったが、今年は特にないことなどが原因の一つではないか。他のあるかとは思いますが不明。 ・会員企業のカラーによって相談内容等もばらつきがある。相談というよりも愚痴を聞いてほしいことがメインのものも複数ある。 <p>(3)努力義務化される治療と仕事の両立支援について</p> <p>本山より 令和8年4月から両立支援が努力義務化されること。これまでのガイドライン以外の情報は出ていないので、今後注意してみてほしい。現在のところはどのような制度、対応を取るかなどは各企業の自由裁量となっている。いずれにしても支援が必要な従業員からの申出から始まるものであるため、申し出てもらいやすい環境づくりや、不利益な扱いをしない、いらぬうわさなどを流さないなど、人間関係作りが重要となる。</p> <p>(4)懇親会</p> <p>部会后、「香港料理 錦記」にて懇親会</p> | |
| 以上 | |

第26期(令和7年) 第1回 暮らし部会 議事録

| | |
|--|--|
| 日 時 | 2025年 10 月28日(火) 15時30分～16 時30分 |
| 場 所 | SOS 会議室 |
| 出席者 | 齋藤真弓、本橋克典、谷治博史、木村誠、若林明、津吹一晴 OB 事務局長栗原哲哉 |
| 議 題 | |
| 1, 事務局長よりNEXT25の説明 2, 各自 近況報告 | |
| 討 議 事 項 | |
| <p>齋藤部会長より挨拶</p> <p>1, 事務局長よりNEXT25の説明</p> <p>第1回 会員向けアンケートSOS会員の満足度、期待について分析結果 第2回 お客様向けアンケートお客様満足度、期待について分析結果 第3回 社会・お客様、SOS会員の变化について分析結果</p> <p>*これを機会に、顧問先とよく話が出来た *これを機会に、会員同士の情報交換も出来て良かった *今後、共済会・組合等の枠組みで情報交換会開催もよいのでは</p> <p>2,近況について</p> <p>① 木村先生より顧問先セミナーの状況について報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年、今年と依頼が増えてきた ・令和7年から介護離職防止の施策が義務化されニーズが増えた ・企業として専門部署を作らなくてもSOSが担ってくれる ・各企業から他社の整備状況をよく聞かれるようになった <p>② 若林先生より活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北区で個人として赤羽駅前のマクドナルドを使用して、毎週若年性認知症の方々の集まりの会を開催している ・SOSの良いところであり今後も相談者への寄り添いが必要なのでは <p>3,11月6日第2回SOS研修会開催の告知及び参加の呼び掛けを致したものの テーマ「退職金の受け取り方と資産運用」講師:角田先生・松下先生</p> <p style="text-align: right;">以上 記:津吹</p> | |

2025 年度 第 8 回事業推進委員会議事録

| | | |
|--|---|------------|
| 日 時 | 2025 年 11 月 12 日（水） 16:00～17:00 | |
| 場 所 | SOS 会議スペース | |
| 出席者 | 事務所：角田榮二、大澤雅勝、香取昂宏、、多田 純 本郷 亮（OB） 栗原哲哉、栃原広幸 Zoom：本橋克典、勝田基、板橋英隆 （欠席：尚樹孝雄、田沼和男、高瀬公芳、柳亭左龍、細川 潤、泉谷史郎）（敬称略） | |
| 議 題 | | |
| 1. 25 周年記念感謝会：総括 2. 相談者向け動画情報サービス：進捗について | | 3. 事業企画室報告 |
| <div>1. 25 周年記念感謝会：総括</div> <p>栗原事務局長より資料に基づいて説明。その後参加者全員で感謝会を振り返って反省点や今後に向けた課題について積極的な意見を交わした。</p> <p>主な内容として、</p> <ul style="list-style-type: none">・顧客訪問について、事前に訪問した顧客の参加率は高く、招待状郵送のみの顧客は参加率が低い →理想としてはやはり訪問数を上げるべき。とはいえ関係者間でのスケジュール調整等の制約を考慮すれば今回はよく回った方ではないか。・ただし新規顧客紹介＝1 件に留まったのは今後の反省点であり要検討。・訪問先で B レベル（部長クラス）以上の面談者が多かったのは理事長はじめ理事の訪問による効果が大きかったのでは。・訪問拒否された 2 社（電通プロモーション様、コスモテック様）については個別に対策が必要。・受付について、案内者との連携に注意すべき：案内者が顧客名を確認したら受付とも共有するよう。・日本酒対応について、想定以上の作業量になったが成功した理由は、細川氏による企画力と細部まで行き届いた気遣いと準備によるものと言える。・懇親会について、お客様懇親会は盛況だったが、会員向けの方は主要会員がお客様の会場に移動したせいか手薄であり、また開始時に間があいたイメージがあった。初めて参加した会員もいることを考慮して対応すべきでは。・今回はお客様と会員で会場を別に設定したが、双方の交流を深めるために同じ会場で行う手段はなかったか検討しては。 <div>2. 相談者向け動画情報サービス：進捗について</div> <p>栃原より進捗について説明。現在 3 件が制作作業中であり、内 1 件が完成（近日中に公開予定）であること、今後についても公開日程を考慮しながら継続して進めていく旨が説明された。</p> <div>3. 事業企画室報告</div> <p>栗原事務局長より資料に基づいて説明。既存顧客対応として、現在受託しているセミナーについて 1 件（テルモ様）が滞りなく終了、現在 3 件（トーキン様、東京金融取引所様、山崎製パン従業員組合様）を並行して進めている旨が説明された。また新規顧客として 2 社（ベネッセグループ共済会様、ヤマハ共済会様）について契約締結に向けて引き続きフォローしていく旨が説明された。</p> | | |

以上

●次回開催は、2025 年 12 月 10 日（水） 15:00～16:00
※開催日時が通常と異なりますのでご注意ください。

事業企画室報告

1. 10月相談実績

別紙参照

2. 既存顧客対応

・テルモ様「お墓」セミナー実施

日 時：10/21（火）12:00-13:00

場 所：テルモ様本社（虎ノ門ヒルズ ステーションタワー）

テーマ：「自分のお墓どうする？」

講 師：本橋特別顧問

形 態：オンライン

参加者数：オンライン約 200 名、アーカイブ視聴数約 300 回・・・好評

・セミナー受託

・トーキン様「介護」セミナー

日 時：12/11（木）14:00-16:00

場 所：トーキン本社（白石蔵王）

テーマ：「介護の基本と両立支援」

講 師：木村 誠 氏

形 態：オンライン→集合性

・東京金融取引所様「介護」セミナー

日 時：調整中（年内）

テーマ：「介護の基本と両立支援」

場 所：東京金融取引所本社（東京駅）

講 師：木村 誠 氏

形 態：集合性

・ヤマザキ製パン従業員組合様「ひとりらいふ」セミナー

日 時：2026/1/17（土）、2/18（土）、2/21（土）

テーマ：「退職金の受け取り方と資産運用」

場 所：ラフォーレ修善寺

講 師：角田 榮二 氏

形 態：集合性

他に、富士フイルム労働組合「介護」セミナー 2 回目（11/26）

TOPPAN グループ福祉会「認知症と相続」（2/14）

3. 新規顧客

・ベネッセグループ共済会（岡山市）

・イオングッドライフクラブ 石岡事務局長の紹介

・9/18：提案（木村事務局長・岡山）

・10/31：土井理事長来所（本郷理事長、栗原）

・11/6：来年4月からお願いしたい旨連絡メールあり

・12/18：詳細打合せ予定

（受託金額＝1,200 千円）

・ヤマハ共済会

・TOPPAN グループ福祉会杉村常務理事紹介、感謝会ご出席

・11/10 ヤマハ本社（浜松）で提案（品田事務局長）

→2026.7 評議会で承認後、2026.10 開始を希望

第26期 第8回 研究・研修委員会 議事録

| 日 時 | 2025 年 11 月 19 日（水） 15：00～15：50 |
|--|--|
| 場 所 | S O S 総合相談グループ会議室 |
| 出席者 | 宮田 淨子、津吹 一晴、松下 明夫、鈴木 亨（オンライン）、笠原 健治（オンライン）、 中村 進（欠席）、勝田 基（オンライン）、丸山 玲子 O B：本郷 亮理事長、栗原 哲哉事務局長 |
| 議 題 | |
| 1. 創立 25 周年記念感謝会の実施報告 2. 第二回の研修会の実施報告 3. 研修忘年会の準備状況について 4. 今後の研修会について | |
| 討 議 事 項 | |
| <p>1. 創立 25 周年記念感謝会の実施報告</p> <p>10 月 17 日創立 25 周年記念感謝会・懇親会の実施報告を事務局長より受けた。 ⇒役員、事業推進委員、研究・研修委員等の協力を得て会員 60 名、顧客 50 名の参加となり滞りなく開催出来た。 ⇒顧客の集客について事前訪問をすることにより大きな成果が上がった。 今回の開催に当たりきめ細かな対策を行い、その成果を次回以降生かしたい。</p> <p>2. 第二回の研修会の実施報告</p> <p>11 月 6 日（木）16:00～17:00 より開催の第二回研修会「退職金の受け取り方と資産運用」の実施報告を宮田委員長より受けた。 参加人員：事務所 12 名、オンライン 7 名 計 19 名</p> <p>3. 研修忘年会の準備状況について</p> <p>講師の高橋美江氏と講演内容の事前打ち合わせを行い、「まちの「ハレ」と「ケ」を見つめる“お散歩民俗学”」のテーマで講演を行って頂く。 開催案内は、11 月 17 日に各会員に発信済み。</p> <p>4. 今後の研修会について</p> <p>毎年恒例の法律・制度の改正についての研修会を 2 月か 3 月に開催する。 依頼先の部会、講師については次回委員会で検討する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p> <p>※次回第 26 期第 9 回研究・研修委員会は、12 月 17 日（水）15 時から開催する。</p> | |

2025 年 11 月 19 日
研究・研修委員会

2025 年度第 2 回研修会

実施報告

1. 日時 : 2025 年 11 月 6 日 (木) 16:00~17:10

2.

3. 場所 : SOS 事務所 (集合性+オンライン)

3. スケジュール :

・テーマ : 「退職金の受け取り方と資産運用」

講 師 : 角田 榮二 氏 (ファイナンシャルプランナー : 税務・金融部会)

＜主な内容＞

高齢期の資産運用リスク

- ・ 定年後の経済生活の現状
- ・ 高齢者の金融資産保有の状況
- ・ いま、世界で起きていること
- ・ 高齢期の資産運用の留意点

講 師 : 松下 明夫 氏 (税理士 : 税務・金融部会)

＜主な内容＞

- ・ 退職金の受け取り方 : 一括 vs 年金払い どちらが有利 ?
- ・ 資産運用 : 守るべき 2 つの戒め

4. 参加者

・ 事務所参加 12 名

・ オンライン参加 7 名

計 19 名

以上

2025 年 11 月 17 日

SOS 会員各位

SOS 総合相談グループ
研究・研修委員長 宮田 淨子**2025 年度 SOS 総合相談グループ「研修忘年会」のご案内**

会員の皆様には日頃から SOS の活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。
下記の通り恒例の研修忘年会を開催します。

今回は、「まち歩き」の専門家として知られる絵地図師・散歩屋の高橋美江氏をお招きしお話をうかがいます。

高橋先生は武蔵野美術大学卒業後、グラフィックデザイナーを経て、現在は全国のまちの絵地図を制作・執筆され NHK 文化センターなどで「お散歩民俗学」の講師を務めるほか、テレビ東京「よじごじ Days」など多数のメディアに出演し、まち歩きの魅力を発信しています。

さらに、終了後はお楽しみの「大交流会」も行いますのでふるってご参加お願いいたします。

記

- 1.日 時：2025 年 12 月 12 日（金）
17:00～18:00：研修会
18:15～19:30：大交流会

2.研修会

- ①場 所：SOS 事務所
②テーマ：「**まちの「ハレ」と「ケ」を見つめる“お散歩民俗学”**」
・講師：高橋 美江 氏
➤ 武蔵野美術大学を卒業
➤ グラフィックデザイナー・イラストレーター

3.交流会

- ①場 所：香港料理「錦記」（SOS 事務所より徒歩 1 分）
②会 費：無料
※お願い：参加者数に限りがありますので早めにお申し込みください
（予告なく申込受付を締め切る場合がありますのであらかじめご了承ください）

4.参加方法

- 事務所での参加またはオンライン（zoom）
※オンラインは研修会のみ

5.申込方法

下記のサイトから申し込むか、または本案内メールに氏名、研修会・大交流会の参加・不参加を記入し返信してください。

※オンラインで参加希望の方は下記でお申込みのうえ、当日は＜別紙＞の url から開始 5 分前までに zoom に入室してください

申込サイト：<https://www.sos-sodan.jp/SOSkensyuu>

（申込・問合せ先）事務局 丸山、中村
TEL:03-3291-4120
Mail: sosmember@sos-sodan.jp
※締切：12 月 8 日（月）必着



「ハレ」と「ケ」？「お散歩民俗学」？

今年の研修忘年会は、グラフィックデザイナー/絵地図師・散歩屋の肩書を持つ 高橋 美江氏 を講師にお迎えします。
お散歩民俗学とは… 民俗学者の柳田國男が日本人の生活感を「ハレ(非日常)」と「ケ(日常)」で表したが、それをまちに置き換えた考え方。ハレ(観光地)ばかり見ないで、ケ(普段の暮らし)にも注目してまちを多面的に見れば、そのまちの本質が見えてくるという高橋流のまちの見方です。おはなしを明日からひと駅手前で降りて歩きたくなるかも？

講 師

高橋 美江氏

武蔵野美術大学卒業/高橋デザイン室主宰
日本地図学会 評議員/ 全国路地のまち連絡協議会



主な制作物

書籍・執筆



イラスト



デザイン



立体 (3D-Art-Map)



開催日：2025年12月12日(金)

研修会：17:00~18:00 SOS 会議室

懇親会：18:15~20:00 「錦記」 ※SOS から徒歩 1 分

お申込みはこちら→<https://www.sos-sodan.jp/SOSkensyuu>

令和7年度下半期 活動収支の状況

2025/11/25 14:31

| (金額単位：円) | 上期実績 | 月別実績・見込 | | | | | | 令和7年度下期 | | | 令和7年度見込 | | |
|--------------|-------------------|-------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|-------------------|------------------|---------------------|-------------------|-----------------|
| | | 10月 実績 | 11月 見込 | 12月 見込 | 1月 見込 | 2月 見込 | 3月 見込 | 合計 | 予算 | 増減 | 上期実績 + 下期実績見込 | 年間予算 | 現在 |
| 入会金 | 40,000 | 0 | 20,000 | 0 | 20,000 | 0 | 0 | 40,000 | 0 | 40,000 | 80,000 | 20,000 | 60,000 |
| 会費 | 1,135,000 | 0 | 5,000 | 0 | 2,500 | 0 | 0 | 7,500 | 0 | 7,500 | 1,142,500 | 1,200,000 | -57,500 |
| 相談事業収入 | 16,059,814 | 2,700,787 | 2,700,779 | 2,700,779 | 2,700,779 | 2,700,779 | 2,700,779 | 16,204,682 | 16,067,486 | 137,196 | 32,264,496 | 32,135,000 | 129,496 |
| 研修事業収入 | 0 | 0 | 100,000 | 200,000 | 200,000 | 400,000 | 200,000 | 1,100,000 | 300,000 | 800,000 | 1,100,000 | 500,000 | 600,000 |
| その他収入 | 675,399 | 130,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 780,000 | 910,000 | 780,000 | 130,000 | 1,585,399 | 1,560,000 | 25,399 |
| 収入合計 | 17,910,213 | 2,830,787 | 2,825,779 | 2,900,779 | 2,923,279 | 3,100,779 | 3,680,779 | 18,262,182 | 17,147,486 | 1,114,696 | 36,172,395 | 35,415,000 | 757,395 |
| <事業費> | | | | | | | | | | | | | |
| 相談事業委員会 | 2,020,794 | 378,833 | 312,750 | 312,750 | 362,750 | 312,750 | 465,750 | 2,145,583 | 1,993,499 | 152,084 | 4,166,377 | 4,213,089 | -46,712 |
| 事業推進委員会 | 856,651 | 1,510,757 | 148,818 | -109,752 | 189,000 | 303,000 | 380,200 | 2,422,023 | 2,338,500 | 83,523 | 3,278,674 | 2,463,080 | 815,594 |
| 研究・研修委員会 | 142,282 | 24,547 | 47,000 | 94,000 | 14,000 | 14,000 | 120,000 | 313,547 | 260,000 | 53,547 | 455,829 | 528,000 | -72,171 |
| インセンティブ | 597,831 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 37,800 | 37,800 | 37,800 | 0 | 635,631 | 581,400 | 54,231 |
| 事業費合計 | 3,617,558 | 1,914,137 | 508,568 | 296,998 | 565,750 | 629,750 | 1,003,750 | 4,918,953 | 4,629,799 | 289,154 | 8,536,511 | 7,785,569 | 750,942 |
| <管理費> | | | | | | | | | | | | | |
| 役員報酬 | 1,200,000 | 200,000 | 200,000 | 200,000 | 200,000 | 200,000 | 200,000 | 1,200,000 | 1,200,000 | 0 | 2,400,000 | 2,400,000 | 0 |
| 人件費 | 6,779,603 | 986,206 | 997,662 | 2,175,662 | 997,662 | 997,662 | 997,662 | 7,152,516 | 7,062,105 | 90,411 | 13,932,119 | 13,980,328 | -48,209 |
| 家賃・水道光熱費 | 2,932,074 | 489,058 | 486,333 | 488,333 | 488,333 | 488,333 | 488,333 | 2,928,723 | 2,929,998 | -1,275 | 5,860,797 | 5,859,996 | 801 |
| 通勤費 | 250,973 | 19,796 | 19,295 | 19,295 | 19,295 | 19,295 | 188,787 | 285,763 | 405,067 | -119,304 | 536,736 | 679,394 | -142,658 |
| 通信費 | 305,985 | 61,495 | 40,333 | 60,333 | -94,667 | 40,333 | 50,333 | 158,160 | 147,800 | 10,360 | 464,145 | 430,600 | 33,545 |
| 会議費 | 448,302 | 50,910 | 42,091 | 192,091 | 122,091 | 42,091 | 72,091 | 521,365 | 579,000 | -57,635 | 969,667 | 1,052,818 | -83,151 |
| 事務用品費 | 214,814 | 30,267 | 66,272 | 29,146 | 29,146 | 29,146 | 29,146 | 213,123 | 201,876 | 11,247 | 427,937 | 390,752 | 37,185 |
| 消耗品費 | 511,237 | 56,896 | 56,596 | 26,096 | 93,196 | 26,096 | 193,296 | 452,176 | 884,876 | -432,700 | 963,413 | 1,273,597 | -310,184 |
| 福利費(慶弔費) | 58,987 | 4,802 | 0 | 0 | 0 | 0 | 20,000 | 24,802 | 30,000 | -5,198 | 83,789 | 80,000 | 3,789 |
| 清掃費 | 153,300 | 25,550 | 25,550 | 25,550 | 25,550 | 25,550 | 25,550 | 153,300 | 153,300 | 0 | 306,600 | 306,600 | 0 |
| 減価償却費 | 80,046 | 13,342 | 13,342 | 13,342 | 13,342 | 13,342 | 13,342 | 80,052 | 80,052 | 0 | 160,098 | 160,098 | 0 |
| 支払手数料 | 292,219 | 0 | 0 | 0 | 76,500 | 0 | 0 | 76,500 | 75,600 | 900 | 368,719 | 367,100 | 1,619 |
| 広告宣伝費 | 36,819 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 74,000 | 74,000 | 74,000 | 0 | 110,819 | 86,819 | 24,000 |
| 保険料 | 21,120 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 42,000 | 0 | 21,120 | 61,828 | -40,708 |
| 諸会費 | 60,000 | 61,650 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 61,650 | 82,000 | -20,350 | 121,650 | 142,000 | -20,350 |
| 雑費その他 | 136,990 | 38,463 | 30,605 | 19,445 | 19,445 | 19,445 | 49,445 | 176,848 | 163,830 | 13,018 | 313,838 | 314,500 | -662 |
| 研究図書費 | 28,670 | 4,445 | 4,445 | 4,445 | 4,445 | 4,445 | 4,445 | 26,670 | 29,670 | -3,000 | 55,340 | 59,340 | -4,000 |
| 旅費交通費 | 22,730 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5,000 | 5,000 | 5,000 | 0 | 27,730 | 10,000 | 17,730 |
| 租税公課 | 3,490 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,000 | -2,000 | 3,490 | 2,000 | 1,490 |
| 寄附金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 交際費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 雑費 | 82,100 | 34,018 | 26,160 | 15,000 | 15,000 | 15,000 | 40,000 | 145,178 | 127,160 | 18,018 | 227,278 | 243,160 | -15,882 |
| 管理費合計 | 13,482,469 | 2,038,435 | 1,978,079 | 3,249,293 | 1,989,893 | 1,901,293 | 2,401,985 | 13,558,978 | 14,111,504 | -490,176 | 27,041,447 | 27,586,430 | -544,983 |
| 費用合計 | 17,100,027 | 3,952,572 | 2,486,647 | 3,546,291 | 2,555,643 | 2,531,043 | 3,405,735 | 18,477,931 | 18,741,303 | -201,022 | 35,577,958 | 35,371,999 | 205,959 |
| 税前損益 | 810,186 | -1,121,785 | 339,132 | -645,512 | 367,636 | 569,736 | 275,044 | -215,749 | -1,593,817 | 1,315,718 | 594,437 | 43,001 | 551,436 |

2025.11.19 栗原

事務局報告

1. 今後の予定

| | | | | |
|---------------------------|------------|---------------|--------------------------|----------------------|
| 11/22 | (土) | AM | 土曜相談 | 中村 |
| 11/25 | (火) | | 2026 カレンダー在庫 (顧客・会員用) | |
| 11/26 | (水) | 16:00- | 理事会 | |
| 11/26 | (水) | 18:30- | 富士フィルムセミナー | 「介護」木村先生 |
| 12/10 | (水) | 15:00- | 事業推進委員会 | |
| 12/10 | (水) | 16:00- | 経営委員会 | 1W 前倒し |
| 12/11 | (木) | 14:00- | トークンセミナー | 「介護」木村先生 |
| 12/12 | (金) | 17:00- | 研修忘年会 | SOS 事務所 |
| 12/13 | (土) | AM | 土曜相談 | 栗原 |
| 12/17 | (水) | 15:00- | 研究・研修委員会 | |
| 12/17 | (水) | 16:00- | 理事会 | 1W 前倒し |
| 12/27 | (土) | AM | 土曜相談 | 中村 |
| 12/28 (日) ~1/5 (月) 年末年始休業 | | | | |
| 1/10 | (土) | AM | 土曜相談 | 中村 |
| 1/11 | (日) | 10:30- | 心理部会 | |
| 1/13 | (火) | 17:00- | 新年交礼会 | SOS 事務所 |
| 1/14 | (水) | 16:00- | 事業推進委員会 | |
| 1/17 | (土) | 8:30- | ヤマパンセミナー① | 「資産」角田先生 修善寺 |
| 1/19 | (月) | 10:00- | 東京金融取引所セミナー | 「介護」木村先生 |
| 1/21 | (水) | 15:00- | 研究・研修委員会 | |
| 1/21 | (水) | 16:00- | 経営委員会 | |
| 1/24 | (土) | AM | 土曜相談 | 栗原 |
| 1/28 | (水) | 16:00- | 理事会 | |
| 2/10 | (火) | 15:00- | 事業推進委員会 | 祝日繰り上げ |
| 2/12 | (木) | 12:00- | テルモセミナー | 「資産」角田先生 |
| 2/14 | (土) | AM | 土曜相談 | 中村 |
| 2/14 | (土) | 13:00- | TOPPAN セミナー | 「介護」木村先生 「相続」大澤先生 |

第192号

SOSニュース

「認知症基本法」と新しい認知症観

1. 「認知症基本法」とは何か

2024年に施行された「認知症基本法」は、認知症の人が地域の中で尊厳をもって生きられる社会をつくるための法律です。

従来のように「介護や医療の対象」として捉えるのではなく、**共に生きる社会をつくること**を目的としています。

背景には、認知症の当事者自身が自ら発信し、社会に声を届けるようになったことがあります。

「認知症になっても自分らしく生きたい」、「排除ではなく共生を」と訴える多くの声が、国を動かしました。

これはまさに、「**支援される人**」から「**社会をつくる一員**」へという意識の転換を促す法律です。



2. 新しい認知症観とは

この法律が示したのは、認知症を「病気」や「できなくなること」で一括りにしない、新しい認知症観です。

認知症とは「記憶や判断力が変化しても、その人なりの理解や意思が存在する状態」であり、誰もがなりうるありのままの人の姿です。

それを前提に考えることで、支援や介護のあり方も変わります。

もし皆さんが、認知症の状態にある親の介護方針を決める会議をしたとします。

その会議に、**本人である親御さんは参加しますか？**

「もう何もわからないだろう」、「意見を聞いても仕方がない」と思って、本人は話し合いのメンバーから外していませんか？

実際には、本人が理解していることも多く、じっくり話をすればきちんと自分の思いを言葉にできる場面もあります。

ところが、認知機能の低下によって言葉を発しづらいこととは別に、周囲の「どうせわかっていない」という偏見や差別的なまなざしが、本人を深く傷つけ、信頼関係を壊し、結果的に認知機能の低下とは関係なく言葉を閉ざしてしまうことにもなります。

「新しい認知症観」とは、こうした思い込みをほどこき、本人の声に耳を傾ける姿勢を取り戻すことでもあります。

3. 教育と学びの広がり

法律の施行をきっかけに、社会の学びにも変化が見られます。

たとえば「認知症サポーター養成講座」のテキストは改訂され、本人の尊厳と共生をより強く打ち出す内容に変わりました。認知症当事者の言葉も多く含まれています。

単に支援されるべき存在ではなく、一緒に地域をつくる当事者目線を持つ仲間として考える視点が加わっています。そして「RUN 伴」（認知症の方もそうでない人も一緒に走る認知症啓発を目的としたランニングイベント）や「定食屋きまぐれ」（認知症の方がホールスタッフとして活躍する定食屋イベント）のように、認知症の方も運営に加わったイベントも各地で広がりを見せています。



また、学校教育の中でも、共生社会や福祉の学びに認知症のテーマが取り入れられ始めています。子どもの頃から「認知症は特別なことではない」と知ることは、将来の理解促進の土台になります。

4. これから求められること

法律が整った今こそ、問われるのは「現場がどう動くか」です。認知症のある人を「支える側」と「支えられる側」に分けず、同じ目線で関わる社会づくりが必要です。企業、地域、教育が連携し、一人ひとりが偏見や思い込みを手放すこと。それが、認知症基本法の理念を実現する第一歩となります。「認知症基本法」はゴールではなく、**社会全体が“新しい認知症観”に立つためのスタートライン**です。

2025年11月

暮らし部会 木村 誠

（介護福祉士・介護支援専門員・
認知症ケア専門士）

「ひとりで悩む前に」お気軽にご相談ください。